

令和7年度第5回 あきる野市地域公共交通協議会 会議録

日 時	令和8年2月19日（木）午前10時00分～10時35分
場 所	あきる野市役所5階 503、504会議室
出席者	会 長 小根山 裕之 副会長 渡邊 浩二 委 員 高野 喜一、竹之内 正雄、宮本 由美子、倉科 大地、黒田 誠、山口 和彦、 富樫 秀樹、黒山 一成、榊原 秀明、藤田 泰司、菅原 雄二、中山 俊夫、 小林 聡、犬竹 幹人、山田 参生、有馬 哲司
事務局	交通政策課 株式会社サンビーム（公共交通検討支援業務受託業者）
傍聴人	6人

1 開会	
事務局：	「令和7年度第5回 あきる野市地域公共交通協議会」を開会する。 委員各位においては、ご多用の中ご出席いただき、感謝申し上げます。 ※ 資料（事前送付、当日配付）を確認 ※ 事務局（交通政策課、株式会社サンビーム）の紹介
2 会長挨拶	
会 長：	年度末のご多忙な中、お集まりいただき感謝申し上げます。 あきる野市地域公共交通計画が無事策定され、冊子化されたものを手に取ると感無量である。こういった計画は、策定も大変だが、今後実効性のあるものにしていくことが更に大変であるので、今後は今まで以上に皆様のご尽力やご協力をいただくことが必要になるだろう。 本日は今年度最後の協議会であり、議事にはデマンド型交通について、来年度からの実証実験を含めた事業計画の変更が挙げられているので、皆様のご協力をお願いします。
3 報告事項	
(1) 公共交通対策事業の実施状況等について【資料1】	
会 長：	本日は傍聴の希望があり、これを許可する。 次第の「3 報告事項」の(1)について、事務局から報告をお願いします。
	※ 資料1-1、1-2を用いて事務局から報告
会 長：	事務局から報告のあった内容に対して、意見や質問があれば伺いたい。なお、質疑については一問一答でお願いします。
委 員：	公共交通の充実を求める要望書の第2次分が提出された。 第1次のときも意見を述べたが、地域住民の要望、特に、小川から二宮本宿までの地域は段下と段上の地区があり、特に段上からの利用は経済合理性があることと、病院や市役所などに行く公共交通手段がないといった地域住民の声があることを重く受け止めていただきたい。

会 長：	<p>ご発言いただいた内容も踏まえつつ、次年度以降の実証実験等を進め、今後検討することになるだろう。</p> <p>るのバスとチョイソコの利用状況については、例年11月から1月にかけて利用が減少する傾向を示している一方で、過年度より利用が増えていることがグラフから受けとれる。次年度以降も引き続き状況を確認していただきたい。</p>
(2) あきる野市地域公共交通計画の策定について	
	<p>※ 令和7年12月に策定、令和8年1月に公表等を行ったことなどについて、事務局から報告。</p>
会 長：	<p>冒頭挨拶でも申し上げたとおり、本計画を実効性のあるものとしていくためには、これからの取組が重要となるので、委員各位には引き続きよろしく願います。</p>
4 議事等	
(1) デマンド型交通「チョイソコあきる野」の事業計画変更について【資料2】	
会 長：	<p>続いて、次第の「4 議事等」の(1)について、事務局から説明をお願いします。</p>
	<p>※ 資料2-1、2-2、2-3を用いて事務局から説明</p>
会 長：	<p>事務局から報告のあった内容に対して、意見等があれば伺いたい。</p>
委 員：	<p>今回の事業計画変更に伴い、更に利便性が向上すると思われる。公共交通は市民の皆さんに使っていただいてこそのものだと思うので、丁寧な周知をお願いします。</p> <p>先ほどの報告事項にも若干関連するかもしれないが、利便性が向上するほど交通事業者が費やす時間や労力が増えていく。公共交通は自治体と交通事業者だけで維持するものではなく、便利になればなるほど利用しやすくなるはずなので、多くの方に利用していただきたい。乗って支えるという考え方も重要なので、そういった意識の醸成についても周知の中に含めていただきたい。</p>
事務局：	<p>これから新たに実証実験を実施する地域においては、説明会等の機会を活用して、ただ今ご発言いただいたようなことについても丁寧に説明する予定である。</p> <p>これまでも、地域に入って説明する際には、公共交通を維持するためには交通事業者や行政だけでは立ち行かなくなっていることを再三お伝えしており、そうしたことを少しずつご理解いただいた結果として、るのバスやデマンド型交通の利用増につながってきていると考えている。しかしながら、行政としては、情報発信が弱いところがあるので、ご意見も踏まえつつ、引き続き周知を徹底していきたいと考えている。</p>
会 長：	<p>ただ今のご意見は非常に重要な点であるので、事務局にはよろしく願います。</p> <p>他に意見がないようであれば、質疑は以上とし、お諮りする。</p> <p>デマンド型交通「チョイソコあきる野」の事業計画変更については、事務局から説明のあった停留所の追加及び変更に向けて必要な準備を進めるということによろしいか。</p>
	<p>(※ 委員からの異議がないことを確認)</p>
会 長：	<p>異議なしとして承認する。事務局及び運行事業者である横川観光株式会社においては、4月からの実証実験実施に向け、運輸局への届出や地域での説明会など、引き続き必要な準備をよろしく願いたい。</p>
(2) その他	
会 長：	<p>続いて、次第の「4 議事等」の(2)について、委員から何かあればお願いしたい。特にないようなので、以上で次第の「4 議事等」を終了する。</p>

5 その他	
会 長：	<p>続いて、次第の「5 その他」として、はじめに、委員の皆様から何かご報告等あればお願いしたい。</p>
委 員：	<p>J R東日本から、机上配付資料及び口頭にて4点ご報告する。</p> <p>1点目は、五日市線の100周年記念プロジェクトについて、今年度の春から100周年記念のイベント等に取り組んできたところ、いよいよ最後のプロジェクトのお知らせとなる。10月10日のプレス記事からの抜粋資料を配付しているが、記載のとおり『五日市の「今」と「これから」を映し出す』武蔵五日市駅前に駅名のモニュメントを設置する。次の100年に向けて、地域の象徴となるよう思いを込めており、本日、工事が完成する見込みである。武蔵五日市駅に来た際には、是非ご覧いただき、写真等を撮っていただきたく思う。</p> <p>2点目は、もう1枚配付している「運賃改定のご案内」について説明する。プレス記事や駅、チラシなどでお知らせしているところだが、3月14日の購入分から運賃改定を実施する。1987年の会社発足以来、消費税の改定を除き、運賃水準を維持してきたところだが、社会環境の変化とともに、物価や人件費の上昇など厳しい経営環境が継続している。そのような環境がこれからも続く見込みがある中、鉄道運行の安全管理、維持管理や、お客様のニーズの変化、サービスレベルの向上、また、激甚化する自然災害などへの対応が必要不可欠となっている。そうした中で、今後も経営の合理化には努めていくが、持続可能な鉄道事業を運営していくためには、経営努力だけでは限界があり、このたび運賃改定の運びとなった。利用者の皆様には非常に負担をかけることになるが、ご理解いただきたい。例えば、初乗り運賃を切符で買うと150円が160円になる。そのほか、行き先によって値段が変わってくるため、詳細はホームページにて確認をお願いしたい。</p> <p>3点目は、同じく3月14日付で、ダイヤ改正を実施する。今回、五日市線については特に変更はないが、近隣では青梅線で一部改正がある。青梅線については、平日の直通運転の一部を見直して、立川始発を設定する。立川駅の夕方のホーム混雑の解消を目的として、東京から直通して青梅まで行っていた一便を、東京から豊田着として、新たに立川発の青梅着というダイヤを設定する。</p> <p>4点目は、青梅線での昼間工事の実施についてのご報告である。先月、青梅線の青梅から奥多摩間で、昼間の集中工事を実施した。1月13日、15日、16日と3日間に渡り、8時50分頃から14時30分頃までの約5時間半、昼間の列車を運休して、集中工事を実施した。地域の皆様には大変な不便をおかけしたが、線路に近接している竹や木の伐採、それによる安定輸送の確保、また作業員の働き方改革などの、持続的な鉄道事業を維持するための将来に向けての試みということで実施した。今後、五日市線でも実施する可能性もあるが、その際は是非ご理解いただきたい。</p>
委 員：	<p>横川観光から、タクシーの運賃改定について口頭でご報告する。</p> <p>2月13日に関東運輸局からプレスリリースがあったとおり、タクシー業界でも運賃改定があり、3月16日から実施する予定である。主な改定内容としては、初乗り運賃500円、加算運賃100円は変わらないが、距離が短くなる。多摩地区については、今まで初乗りが1.091キロメートルだったのが、1キロメートルになる。また、そ</p>

	<p>の後の加算運賃が233メートルから211メートルと、距離の調整での運賃改定となる。これは、乗務員の待遇改善等を図る狙いとなっており、皆様のご理解をよろしくお願いしたい。</p>
委員：	<p>西東京バスから、市内の路線バスのダイヤ改正について口頭にてご案内する。</p> <p>市内の路線バスのダイヤ改正について、既に本協議会でご協議いただいたるのバスのダイヤ改正等と同日の4月1日の実施に向けた準備を進めている。もっとも大きな改正は、武蔵引田駅北口への乗り入れである。福生駅から草花の菅瀬橋を経て、永田橋通りを通過して日の出町内を結ぶ路線の一部を、日の出町内の中平井交差点から南下して、武蔵引田駅へ乗り入れる系統を現在認可申請中である。また、これに併せて、福生駅を発着する路線について一部夜間を中心に減便や、系統の見直しを予定している。認可及び準備が整い次第、お客様や市民の皆様への周知を図る。また、武蔵引田駅の路線についても、最初は便数が限られているが、引き続き交通の拠点として路線の整備をしていきたいと考えているので、ご承知おきいただきたい。</p>
事務局：	<p>事務局から1点、事務連絡させていただく。次回の協議会は、次年度以降に開催を予定している。詳細等は決定次第、各委員に改めて通知を差し上げたい。</p>
会長：	<p>交通事業者からお知らせ等をいただいた。JRもタクシーも運賃改定を実施予定ということだが、多様な料金が値上げしている中で、非常に厳しい状況ではあるものの、本協議会でも話題になったとおり、公共交通を維持していく上では、やむを得ない重要なことでもあり、理解をしていかなければいけないと個人的には思っている。</p> <p>以上で次第の「5 その他」を終了する。ここで進行を事務局にお戻しする。</p>
6 閉会	
事務局：	<p>会長の議事進行、また、委員からの貴重な意見を賜り、感謝申し上げます。</p> <p>以上で「令和7年度第5回 あきる野市地域公共交通協議会」を閉会する。</p>